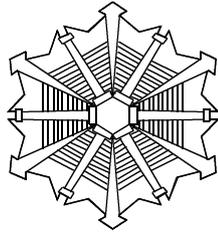


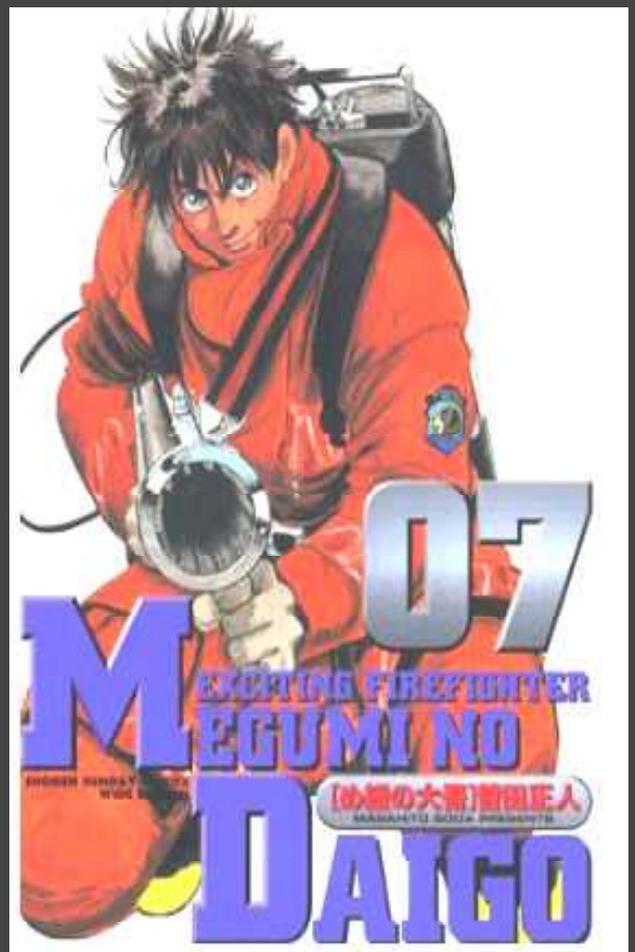
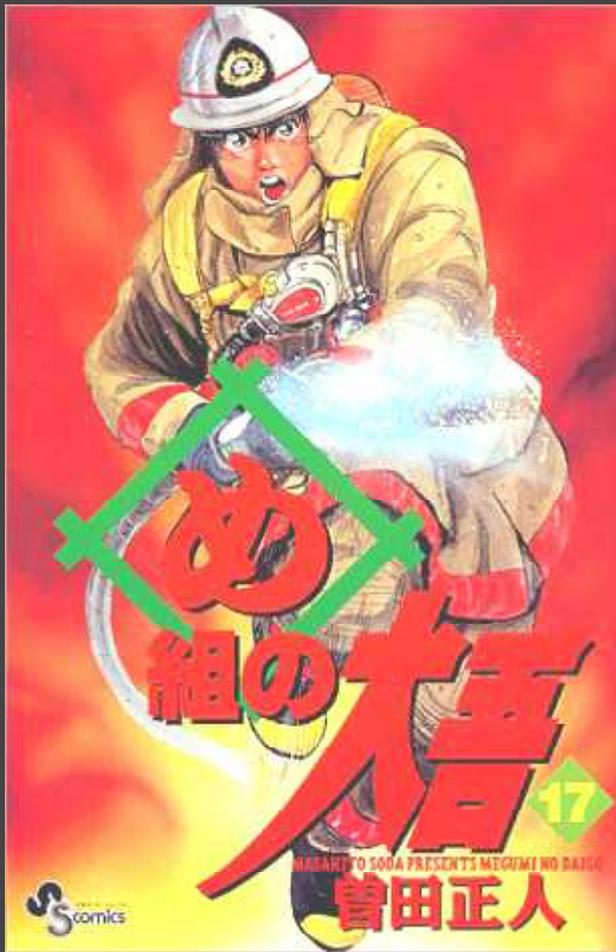
か づの
消 防 鹿 角



鹿角広域行政組合消防本部管内
 出 動 件 数
 平成20年1月～平成20年9月末
 総出動件数 1,229 件

第25号 平成20年 秋季号
 編集・発行：鹿角広域行政組合消防本部・消防署

①火 災	34 件
②救 急	1055 件
③救 助	31 件
④自然災害	3 件
⑤遭難捜索	16 件
⑥そ の 他	90 件



曾田正人／小学館・少年サンデーコミックス



秋の火災予防運動

平成20年11月2日（日）
 ～11月8日（土）

11月2日（日）の早朝に消防団による火災想定訓練が行われます。

また、訓練後の午前中に消防車による防火パレードも実施されます。

火災予防週間中の7時と19時にはサイレン又は警鐘が鳴りますので、火災と間違わないようにご注意ください。

女性消防団員 カラーガード隊・機関員 デビュー!



堂々の演技を披露する鹿角市消防団女性消防団員カラーガード隊



揚水訓練を行う鹿角市消防団第1分団の奈良日佐子さん

さる7月6日に開催された「第60回鹿角支部消防訓練大会」で鹿角市消防団女性消防団員により結成された県内初のカラーガード隊の演技が披露されました。短期間の練習にもかかわらず、堂々とした演技で入場行進に華を添えました。また県内初となる女性消防団員のポンプ車機関員の揚水訓練も披露され消防団のPRに貢献しました。鹿角市は女性消防団員を大募集しています!!

緊急消防援助隊出動!!

緊急消防援助隊とは・・・

1995年1月に発生した「阪神・淡路大震災」では多発する火災、救助活動に地域の消防力だけでは対応できませんでした。その課題を教訓に全国の消防応援体制を見直し、多種多様化する災害に迅速円滑に出動できるよう発足されました。

鹿角広域行政組合消防本部では、選抜された13名の隊員が救助部隊、化学消防部隊、救急部隊として派遣されています。

岩手・宮城内陸地震での活動

6月14日に発生した「岩手・宮城内陸地震」の被災地に緊急消防援助隊秋田県隊の一員として鹿角広域行政組合消防本部から救助隊が出動しました。

また7月24日未明に発生した「岩手県沿岸北部地震」にも被災地からの要請があり救助部隊が出動・現地待機しました。



10月15、16日には大仙市にて震度6強の地震を想定した北海道・東北ブロックの訓練が行われました。

【写真提供・秋田市消防本部】

駒ノ湯温泉での救助活動の様子



わが家の地震対策 <災害豆知識>

地震が起きた時、家具などが倒れるとその下敷きになり大変危険です。

壁や柱に固定できる物はしっかりと固定し、倒れないようにしておきましょう。



住宅用火災警報器の設置届出をお願いします

みなさんのお宅では取り付けましたか？

別紙パンフレットの住宅用火災警報器の設置状況を把握するため消防署では「住宅用防災警報機器設置届出書」の提出をお願いしています。

(任意の届出となりますので罰則はありません)

届出用紙は、消防署・各分署に用意していますので、ご自分で取り付けた方がおりましたら、最寄りの消防署・各分署へ提出して下さい。

またホームページから届出用紙をダウンロードできますのでご利用下さい。

ホームページアドレス

<http://www.fdkazuno.jp/>

<http://www.fdkazuno.jp/jyuukeiki.pdf> (届出用紙)

天井取り付け型



壁掛け型



11月9日は119番の日です

《「いざ」というときの119番のかけ方》

「いざ」というときの「119番」ですが、実際「いざ」というときはなかなか落ち着いて通報できないものです。

しかし通報の内容をうまく伝えられないことで出動が1分1秒と遅れてしまいます。

「いざ」というとき、「119番」を受け取った通信指令員が通報してくれた「あなた」に質問をしていきますので、ひとつひとつ落ち着いて質問に答えてください。

質問する主な内容は次のとおりです。

《ひとくちメモ》

119番の日は昭和62年(1987年)に消火活動、救急業務、救助活動などの消防全般に対する正しい理解と認識を深め、防火意識を高める日として設けられました。

なお平成19年1月から12月までの119番の着信状況は次のとおりです

火災・救急・救助等災害	969件
いたずら・間違い	127件
通報訓練・試験 他	600件
合計	1,696件

通信指令員

「119番消防署です。火事ですか救急ですか。」

「場所はどこですか、お名前を教えてください。」

火災のとき

「何が燃えていますか。」

「逃げ遅れた人はいますか。」

救急のとき

「どうしましたか。」

「通院している病院はありますか。」

「あなたのお名前と電話番号を教えてください。」



「いざ」というときはなかなか訪れるものではありませんがその「いざ」というときのために電話のそばに「自宅の住所」「目標となる建物」「世帯主の名前」「電話番号」などを書いた通報メモを貼っておくと正確に通報内容を伝えられます。

メモを読みながら「あわてず」「ゆっくり」「落ち着いて」119番通報してください。

☆全国救助大会に出場しました

去る8月29日、福岡県北九州市で第37回全国消防救助技術大会が開催されました。この大会は全国から集まった救助のエキスパートが基礎を磨き、互いに競い合うことで国民の期待に力強く応える事を目的としたものです。

当消防本部からは、海沼雄二消防士長が「はしご登はん」の部の秋田県代表として出場し、見事入賞を果たしました。この競技は命綱をつかったあと、高さ15mのはしごを登り、その確実性と所要時間を評価するものです。当消防本部ではこのほかの種目にも力を入れており、県内でも強豪と言われております。これからも圏域住民の皆さんのご期待に応えるべくさらに努力して参ります。



☆がんばれ消防団！

去る9月4日、第45回秋田県消防操法大会が由利本荘市にある秋田県消防学校で開催され、県内各支部の大会を勝ち抜いた精鋭が日頃の訓練で培った消防操法技術を競い合いました。

鹿角支部からは7月6日に行われた大会を勝ち抜いた鹿角市消防団第5分団第1部（尾去沢・小型ポンプ操法）、小坂町消防団第4分団（万谷班・ポンプ車操法）が1ヶ月以上に及び早朝訓練を敢行し万全を期し本大会に臨みました。

大会では、小坂町消防団第4分団が2位、鹿角市消防団第5分団は4位。総合では鹿角支部が2

位となる好成績を収めました。

今後も更なる消防団の力強い活躍を期待して下さい。



消防通信 龍吐水 りゅうどすい

☆ いつか私も消防士に。。。



鹿角市立花輪第二中学校の生徒5名が2日間の日程で職場体験学習を行いました。

今回、当消防署では初めて男子生徒に混じり2名の女子生徒

が参加し、様々な業務や訓練を全員が一生涯懸命体験していました。

防火衣を着装しての火災出動訓練では全身汗だくになりながら放水体験をしていました。

また救助隊がおこなうロープ渡過やロープ登はんも体験し「将来は消防士を目指します！」と全員が力強く語ってくれました。

☆ わたしは『ダッチ』です

鹿角市消防団第12分団第1部（毛馬内）の器具置場に伝承保存されている県内最古の消防車、通称「ダッチ」をご存じですか？

昭和12年、当時の毛馬内町消防団が購入したダッチ社製（現クライスラー社）の消防車で同時期のものは全国でも数十台しかありません。

この「ダッチ」をいつでも観覧できるように



と、展示スペースが完成しました。

ご希望の方は下記の十和田分署までお問い合わせ下さい。

ホームページのご案内とeメール災害情報サービスについて

火災や災害の最新情報、応急手当講習申し込み、各種届出様式、また消防防災情報を掲載しておりますのでご利用下さい。

ホームページアドレス

<http://www.fdkazuno.jp/>

携帯電話用災害情報サイト

<http://www.fdkazuno.jp/keitai>



携帯電話サイト用
QRコード

携帯電話やパソコンに鹿角市、小坂町で発生した災害情報をeメールで配信しています。

ご利用される方は、登録が必要ですので、下記のメールアドレスへ氏名と登録するメールアドレス、連絡先の電話番号を明記して送信して下さい。

登録先 eメールアドレス info@fdkazuno.jp

連絡・問い合わせ先 ◎消防本部・消防署 電話 23-5601(代) ◎十和田分署 電話 35-2006
◎小坂分署 電話 29-2119 みなさんからのご意見お待ちしております